

令和2年10月2日

令和2年度 大阪府立日根野高等学校第2回学校運営協議会

進行 教頭 川瀬 治彦
記録 教諭 小池 洋平

1. 校長挨拶

日根野高等学校の現状について

2. 協議会委員及び事務局員紹介

1) 協議会委員（出席者）4名

泉佐野泉南医師会看護専門学校	副学長	西田 好江 様
ひねのこども園	園長	神藤 吉伸 様
大阪府立日根野高等学校	後援会役員	大谷 ゆかり 様
大阪府立日根野高等学校	P T A 会長	豊福 秀夫 様

2) 協議会委員（欠席者）2名

泉佐野市立日根野中学校	校長	安部 秀文 様
イオンモール日根野	ゼネラルマネージャー	横倉 実可 様

3) 事務局員（出席者）7名

校長	谷口 浩也
教頭	川瀬 治彦
事務長	南 廣行
首席	野中 博志
首席兼進路指導主事	杉原 洋
教務主任	矢萩 友之
教諭	小池 洋平

4) 協議会委員の交代について

イオンモール日根野	ゼネラルマネージャー	高岡 淳一 様
	↓	
イオンモール日根野	ゼネラルマネージャー	<u>横倉 実可 様</u>

3. 協議

1) 令和3年度使用教科書採択の報告（教務主任より説明）

2) 本校の教育活動の現状（事業概要報告）について（校長より）

（令和2年度 学校経営計画及び学校評価（進捗状況）について説明）

- 「将来の夢を自ら見定め、自立・実現していく力を育む」に関して
 - ① 分かる授業、進路実現を見据えた授業をめざし、授業改善に取り組む
 - ・ 第一回授業アンケート結果 授業満足度 83%
 - ・ 英語、情報などの授業で様々なプレゼンテーション実施
 - ・ オンライン授業に向けて、Google classroom の導入
 - ② 特色ある専門コースを持つ普通科高校と、実現性の高い進学を志向する
 - ・ 新カリキュラム委員会の立ち上げ
 - ・ 1年コース科目選択説明会（6/25）2年選択科目説明会（9/3）
 - ・ 11月にオープンスクール実施予定
 - ・ 中学生による個別高校訪問（9人）
 - ・ Webでの学校説明動画配信予定（HPでYouTubeの限定URL公開）
 - ③ 「ひねのプログラム」を活用し生徒の学習意欲の向上を図る
 - ・ 進路意識調査の実施（毎月）
 - ・ キャリアガイダンスセンター（CGC）の来客者数732名（昨年610名）
 - ・ 分野別進路説明会の実施 面接試験指導の実施
- 「道徳教育・人権教育を基盤に、地域社会と連携しまた貢献する志と力を育む」について
 - ① 「いじめ防止基本方針」の実施と道徳教育を推進する
 - ・ いじめ防止対策委員会の実施
 - ・ 遅刻者数692名（昨年1481名）生徒指導週間（身だしなみ指導）の実施
 - ・ 人権学習HRの実施（1年 情報モラル 2年 LGBT・コロナ 3年 同和問題）
 - ② スマートフォンに係るネットと人権侵害理解についての取り組みを推進する
 - ・ インターネット上の諸問題について情報の授業や学年集会、HR等で取り組む
 - ・ PTA・職員合同人権研修（SNS関係）の実施
 - ③ 部活動、学校行事、地域ボランティア活動への参加を通じ、自己肯定感を高める
 - ・ ボランティア活動としてペットボトルキャップ回収運動
 - ・ ピンクリボンまつりボランティアに50名ほど参加予定
 - ・ ダンス部・吹奏楽部による校内発表会実施

- ・文化祭中止 体育祭実施予定
- ・修学旅行中止→代替行事実施予定

- ④ 保護者への情報提供を積極的に行うと共に意見を教育活動に取り入れる
- ・Web ページの更新、ブログの発信、メール配信
 - ・欠席連絡を Google Form（ネットシステム）でも可能に
 - ・学校教育自己診断の回答を Google Form で行うようにし回答率を高める

● 「安全安心な学びの場を作り、生徒理解を促進し相談体制を充実させる」について

- ① 障がいのある生徒への理解を深め、自立を支援する
- ・生徒支援カードをもとに必要生徒には個別の支援計画を作成
 - ・スクールカウンセラーの活用（4回）
 - ・教育相談支援委員化会議の実施（4回）
- ② 生徒がより相談しやすい環境を作る
「いじめ、セクハラ、体罰等」についてのアンケート実施
- ③ 事故等の予防と防止、防災対策に取り組む
- ・感染症予防対策として手洗い励行、ソーシャルディスタンス確保等のポスター作成
 - ・保健だよりの発行（6回）
 - ・感染症対策物品（マスクや消毒アルコールなど）の購入
 - ・防災避難訓練の実施

4. 本校に対する意見等（委員会からの提言を含む）

<委員> 第9地区で学校行事を中止している学校はほかにあるのか。

また、学校行事の中止による生徒の心のケア、生徒同士の友好関係を築く機会を提供してほしい。

A. いくつかの高校は中止しているとの情報がある。

<委員> 授業時間数は足りているのか。夏休み期間の短縮授業を減らし6限授業にし、夏休みをもう少し多くすべきだったのでは。

A. 原則的に授業日数の確保を求められているので、休みの日を増やすことは難しい。また、夏休み期間には追試や講習の実施や、暑さなどの理由から短縮授業期間を長く設けた。

今年度はマスク着用や換気が必要とされ、保健室利用者数が多かった。

<委員> 装飾品預かり指導の内容と効果はどのようなものか。

A. 預かった装飾品は年度末まで返さない。長期間にわたり、生徒・保護者に周知してから実

施した。

それでも何人かの生徒は身に着けているので指導を行っている。

<委員> 泉佐野泉南医師会看護専門学校はオープンキャンパスと受験対策講座はオンラインで行ったが、面接は対面での実施を予定している。

校内では、手指消毒をはじめ感染症対策を講じているが、やはり一番感染リスクが高いのは食事の時なので、特に徹底させている。

A. 本校でも昼食時が一番心配である。注意喚起していきたい。

<委員> 新型コロナウイルスによって生徒の進路希望や“看護”に対する意識は変わったか。

A. 毎月実施している進路意識調査では、新型コロナウイルスの影響による進路希望変更は基本的にはない。経済的に苦しくなり大学進学を諦める生徒も今のところほぼいない。

5. その他

○今後の日程

第3回学校運営協議会 令和3年1月22日（金）15時30分～